



一本杉のお大師さん

「一本杉のお大師さん」は、室戸岬の岩頭で修行されたと述べておられます。その修行は「虚空蔵菩薩求聞持法」

響き惜しまず。明星来影す。」と阿波の第二十一番・太竜寺と土佐の第二十四番・最御崎寺、室戸岬の岩頭で修行されたと述べておられます。その修行は「虚空蔵菩薩求聞持法」

写真提供・松山市 伊藤一春



「夜明けの遍路」

本年は真に勝縁の年、是非とも御巡拝されお大師さま直々におかけ、御利益を戴いて下さい。

合掌

南無大師遍照金剛



平成二十六年
鯖大師本坊

柳本明善

猛暑の柳
皆様のご健康を
心よりお祈り致します
合掌

暑中お見舞い申し上げます



発行所
〒775-0101
徳島県海部郡海陽町浅川
鯖大師本坊同行二人会
電話 (0884)73-0743番
FAX (0884)73-3405
編集人 柳本明善
印刷所 (株)教育出版センター

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の
携帯サイトです。

祝 弘法大師開創千二百年記念

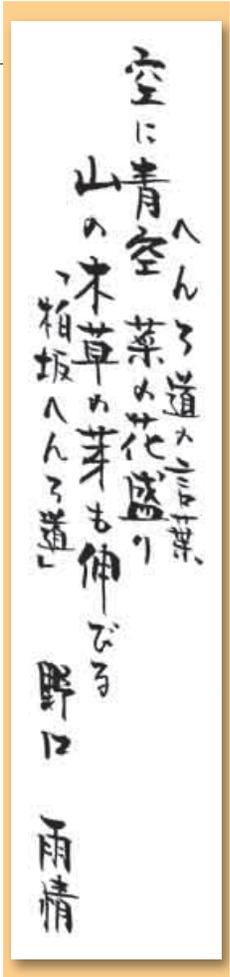
今年には弘法大師・お大師さまが四国霊場をお開きになられて千二百年の吉祥、吉縁の年であります。

お大師さまは宝龜五年(七七四年)青葉かおる六月十五日、香川県善通寺市でお生まれになりました。お前は真魚と呼ばれ、聡明、数々の奇瑞を現す天才少年、または貴物と呼ばれました。十八才、時の都、長岡京市の大学に入学されましたが、大学はお大師さまが求める所ではありませんでした。そこでお大師さまは、その志を四国の山野に求め、一介の修行者として久修練行されました。

と呼ばれ、全ての経典を記憶できる超能力を体得することでした。

三十一才、延暦二十三年(八〇四年)さらに法を求めるとお大師さまは、遣唐船で今の中国に渡り、惠果和尚より真言密教を伝授され艱難辛苦、九死一生を得て帰国、弘仁六年(八一五年)御自身がお生まれになり、若き時にご修行された四国の地に、霊場をお開きになりました。

四国霊場、八十八ヶ所巡拝は、お大師さまが御修行されました御跡を慕い、険しき山々、波さか巻く海岸、野辺の道を二三〇〇km歩き訪ね、自然の叡智、人とのふれあいで学び、癒され、満たされていく巡拝修行です。



鯖大師ホームページ
URL
<http://www.sabadaishihonbou.jp>
*ホームページでは鯖大師由来、過去の鯖大師だよりの掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

四国八十八ヶ所・別格二十霊場

人生即遍路 四国霊場開創一二〇〇年記念

今年、弘法大師・お大師さまが四国霊場を開創されて千二百年の吉縁の年、満足行パート(3)は土佐霊場の後半と菩提の道場・伊予の二ヶ寺と別格第五番・大善寺と別格六番・龍光院を巡拝します。

お大師さまも通られた、海の遍路道

第三十六番・青龍寺から須崎市の別格第五番・大善寺には横浪スカイラインと浦ノ内湾を歩く道があるが、ここにはもう一つの遍路道、横浪の渡しがある。お大師さまも通られたれつきとした海の遍路道である。

七時五分、宇佐大橋の近く埋め立てより乗船、寒風、波しぶきを立てながら浦ノ内湾を走る、途中、二ヶ所に寄り通学の小、中学生の子供が乗ってくるのが楽しい、約五十五分の船旅である。浦ノ内で下船、仏坂不動尊を参拝し須崎市内、別格第五番・大善寺。小高い山の上に堂宇が所狭しと並ぶ。初日は安和より焼坂の遍路道を登り、中土佐町久礼駅まで歩く。

久礼より大坂の急坂を登り七子峠、高速道路が出来て寂れている。第三十七番・岩本寺は不動明王、観音菩薩、阿弥陀如来、薬師如来、地藏菩薩の五体を御本尊とする珍しい寺。

また、本尊の天井には曼荼羅世界の岩本寺

また、本尊の天井には五百七十五枚の絵、様々な物が描かれている。二年に一度、金髪のマリリン・モンローさんに逢うのが楽しみである。岩本寺より第三十八番・金剛福寺までは約八〇km、札所間の距離が一番離れている所である、長い道中、遍路とは何か自問自答する。

また、遍路の楽しみが一杯あるコースでもある。黒潮町熊井には明治三十八年に出来たレンガ造りのトンネルを歩く。四万十川の河口、下田より対岸の初崎まで渡し船に乗る。

今に生きる四国遍路の中興 真念上人

伊豆田トンネルを抜けると市野瀬、江戸時代四国遍路の中興・真念上人ゆかりの庵がある。下ノ加江、久百々を過ぎると一・六km白砂青松の大岐の浜、この浜が遍路道である。

渚を歩き砂浜に願い事を書く、打ち返す波に消される、浜灌頂の浜である。以布利には大阪海遊館の養魚場がある。一昨年に巡拝した時、大きなジンベイ鮫を見せて貰った。

海 の 霊 跡、足 摺 岬

第三十八番・金剛福寺は観音浄土、補陀落渡海の寺、山門に嵯峨天皇の補陀落東門の額が架かる。足摺の地名は観音浄土に小船で旅立つ弟子を見送った僧が、自分も早く行きたいと地団駄を踏んだ事に由ると言われている。金剛福寺を参拝して足摺岬を西廻りに、松尾からジョン万次郎の故郷、中浜から再び以布利、下ノ加江、市野瀬と打ち戻る。

土佐、最後の札所、第三十九番・延光寺には真念上人の道しるべ石が今に残る地蔵峠を越え、宿毛市平田に出る。

延光寺は四十八年前、初めて遍路をした時お納経代が無くて境内の草抜きを手伝い、お納経を戴いた想い出がある。この付近の風景は当時とあまり変わっていない。

修業の道場・土佐より 菩提の道場・伊予

宿毛市のホテルを早朝に出発、コンビニエンスストアで腹ごしらえをして貝塚より小深浦、大深浦のアップダウン、昔の土佐から伊予への交通の要所、松尾峠の急登に喘ぐ。峠の頂上には国境の

標石と大師堂がある。

愛南町に下り、伊予の最初の札所は第四十番・観自在寺、平城天皇ゆかりの寺、御本尊は薬師如来である。

土地の人の信仰が生きる柏坂

内海より柏坂(四六〇m)越えの三・三kmに喘ぐ、峠では野口雨情の詩標と宇和海の絶景が一望できる。

別格第六番・龍光院は宇和島市の中央、小高い山の上、一昨年、祝融の災の本堂も立派に修築されている。

心なごむ、龍光寺と仏木寺

第四十二番・仏木寺は田園の中、立派な山門と茅葺屋根の鐘楼が美しい寺である。御本尊は大日如来、御真言の オン アビラウン ケン バザラダトバン と唱える。

第四十一番・龍光寺に打ち戻る。龍光寺は三間の稲荷さんと親しまれている、正面に鳥居が立ち稲荷さんがお祀りされている。小さくまとまった境内、何かホットする雰囲気漂うお寺である。

今回はここで打ち止め、十日間の修行を無事に終える。

巡拝修行日数 合掌 十日間
修行歩行距離 二五四km
修行参加者 十四名(一部参加者を含む)

南無大師遍照金剛



仏坂、岩不動



渚の遍路道 大岐の浜



ほほえむマリリン モンローさん



駒井トンネル



四万十川 下田の渡し船



松尾峠の大師堂



第40番 観自在寺山門



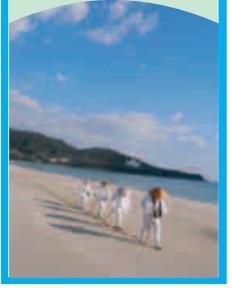
第42番 仏木寺鐘楼堂

四国八十八ヶ所・別格二十霊場

人生即遍路 四国霊場開創一二〇〇年記念

歩くお遍路 第十二回 平成26年 6月17日より 6月26日

パート(4) 満足修行巡拝



六月は梅雨の季節、この時季の遍路は雨と暑さで体力を消耗する。その対応が巡拝の成否の鍵となる。

今回の満足行は二月に終わった第四十二番・仏木寺から歩き始める。第四十三番・明石寺には歯長峠を越える。

久しぶりに歯長峠の急登に大汗をかき。峠より宇和の山々が霞む。柳や杉、櫻の大木に囲まれた本堂、葺き替えられ檜皮葺きの唐草門が美しい。地元の人より「あげいし」と親しまれる。時折の小雨の中、西予市と大洲市の境、鳥坂峠の下に新しい遍路小屋、雨の日は非常にありがたい。



鳥坂峠下のへんろ小屋



第43番・明石寺

山上に大伽藍、四国の古刹、別格七番・出石寺

出石寺には平野より小雨の中、夏草と灌木をかき分けること四時間、標高八〇〇mの山上に大伽藍、七百十八年に道教法師に開山され、平成二十九年には開創千三百年、四国で屈指の歴史を誇る寺である。奉納経の印には自然湧出の文字が刻まれている。雨が冷たく体が冷えてくる。参拝後、大洲市阿蔵に下る。

大師さまは橋の下の橋の下、別格八番・十夜ヶ橋

十夜ヶ橋には今も、お大師さまが橋の下で野宿をされている。「ゆきなやむ浮世の人を渡さずは、一夜も十夜の橋と思はゆ」とお大師さまは貧しい土地の人々を慈しみ、衆生済度の御誓願をされた所、交通の要所、お大師さまがお休みになる国道の橋の上を高速道路の橋が跨ぐ。



十夜ヶ橋のお大師さま

四国八十八ヶ所の真中、第四十四番・大宝寺

明石寺より第四十四番・大宝寺まで約七〇km、四国で二番目に札所間が遠い所、内子町を過ぎると宿もコンビニも無い。お大師さまが大洲市を修行中、雨ばかりであったが大宝寺への峠を越えた時、「やつと日和になった」が語源の鴉田峠を越えると久万高原町、杉の大木と豪快な山門の大宝寺を参拝する。四国八十八ヶ所の半分に位置する寺である。

南面の風景、第四十五番・岩屋寺

大宝寺から畑野川に下り遍路道から八丁坂を登ると岩屋寺、今にも落ちてきそうな岩山の下



第45番・岩屋寺 本堂

に本堂や納経所が並ぶ、小雨で霧が漂い南面の霧囲気、岩と岩の間を登る「せり割り行場」や本堂の下には「穴禅定の行場」があり魅力に富んだ寺である。

三坂峠を下ると道後平野、衛門三郎ゆかりの寺々

小雨の中、三坂峠を下り第四十六番・浄瑠璃寺、小木に囲まれた境内、今にもお大師さまが現れそうな光景、四国の熊野信仰の拠点と言われた第四十七番・八坂寺を参拝し、近くの四国遍路の元祖・衛門三郎ゆかりの別格九番・文殊院を参拝する。重信川を渡ると第四十八番・西林寺である。念仏聖、空也上人ゆかりの第四十九番・浄土寺を打つ、境内はツアー遍路の巡拝団体が溢れている。第五十番・繁多寺、通称、畑寺は松山市の浄水池の横である。道後温泉と共に松山を代表する観光地、第五十一番・石手寺、夕方五時を過ぎると日中の喧騒が嘘の様に静か、境内に座し読経をする。



別格霊場 九番・文殊院

山全体が境内の第五十二番・太山寺

太山寺は道路沿いの総門から本堂までがかなり離れている、山全体が境内である。第五十三番・円明寺の近く、芳野玉雄さん宅を訪ね、三年前に亡くなられた奥様に経をあげさせていただく。芳野様は九十四才、病気をされたとの事ですが回復され、お元気な姿に安心する。



第53番・円明寺

心なごむ瀬戸内海の潮騒

旧北条市から国道三四七号線を瀬戸内海沿いに今治市に歩く。第五十四番・延命寺に昼過ぎに着く、天気は良いが汗が吹き出る。第五十五番・南光坊は今治市街、夕方五時の奉納経がいただける時間に間に合うかと気にしながら第五十六番・泰山寺へと急ぐ。早朝六時前、第五十七番・栄福寺を参拝、境内に真新しいビル風の建物が目を引く。犬塚池より第五十八番・仙遊寺に登る。境内は掃除が行き届き清々しい。仙遊寺より山道を下り第五十九番・国分寺、境内は開創記念工事の最中、国分寺から別格十番・興隆寺までは十五km、疲れた体には遠い。また興隆寺も山全体が境内の寺、本堂までが遠い。

四国の難所中の難所、第六十番・横峰寺

別格十一番・生木地蔵を早朝に参拝し、横峰寺に向う。西条市大頭から湯浪まで歩き二・二kmの急登、標高七〇〇m、境内のしやくなげの新緑が映える。お大師さまの詩文に「濁水一杯朝に命を支え、山霞一咽夕に神を谷ふ」という文章があります。その様な気持ちにさせてくれる。横峰寺から第六十一番・香園寺奥ノ院白滝不動より香園寺、安産と子育て、子安信仰の殿堂、大聖堂の本堂が偉容を誇る。近くの第六十二番・宝寿寺を参拝して今回の満足行を終える。



第60番・横峰寺での登り



第62番・宝寿寺

ブログ「鯖大師本坊 歩き遍路・沙門明善」
*満足修行の道中日記や写真、その他行事には更新しています、良かったらご覧下さい。

南無大師遍照金剛

巡拝修行日数	十日間	合掌
修行歩行距離	二五八・四km	
修行参加者	十二名(一部参加者を含む)	

四国霊場開創
1200年記念巡拝
満足行



四国八十八ヶ所・別格二十霊場巡拝
代参ご祈願のおすすめ

あなたに代わり歩いておまいり・ご祈願 平成26年11月15日(土)～平成26年11月24日(月) 10日間

第十二回、満足行パート5は、第62番・宝寿寺から第83番・一宮寺まで歩いて巡拝致します。お四国をおまいりしたくても出来ない方、歩いておまいりしたくても出来ない方のお願い事を、あなたに代り歩き、各霊場のお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

代参ご祈願ご希望の方は、10月31日までに鯖大師本坊にお申し出下さい。

ご祈願料 2,000円以上 (1人1願)

※代参巡拝後、ご祈願札、錦の納札をお授け致します。

お盆供養とは別です。



人生即遍路
四国霊場開創
1200年記念
満足行
歩くお遍路
パート5

第十二回

第62番・宝寿寺～別格19番・香西寺、第83番・一宮寺まで

涅槃の道場・讃岐霊場を巡拝し、お大師さまの同行二人のご誓願を身をもって体験、修行する。

参加料
10,000円

傷害保険料、渉外費に充当



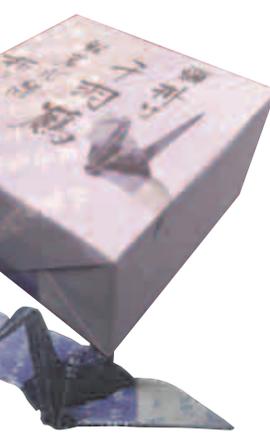
日時 平成26年11月15日(土)～平成26年11月24日(月) 10日間
集合 平成26年11月14日(金) 午後5時
愛媛県西条市 しこくや
TEL 0898-76-2008
巡路 第62番・宝寿寺——(別)12番——(別)19番——第83番・一宮寺まで

※奉納経料金、宿泊代、昼食代等は各自、個人負担

※参加申し込み〆切日 平成26年10月31日

参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

◎ご病気の方の快復を願ひ、また子宝、出産、試験等の諸願成就のため。
◎亡くなった方の得脱を祈り、慰霊鎮魂のため一折、一折願いを込めてお祈り下さい。



一千枚 (千五百円)

願掛け千羽鶴

般若心経折り紙

檀木奉納
一本(二願)
壹万円
あなたのお願ひ事を、檀木に浄写して大柴燈護摩修行にて、ご祈念お焚き上げ致します。
※数に限りがありますので、三十本お集まり次第、〆切らせて頂きます。ご了承の程。
※お電話にて承ります。お申し出下さい。



十一月三日鯖大師御法礼大祭
大柴燈護摩檀木奉納の願ひ

お盆供養のご案内 八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源はご先祖さまです。このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。
命の源、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。

ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。



白衣観世音菩薩願主のお勧め

大慈大悲の心で、私たちを苦しみから救い導く仏、観音さまにお願いを!!
 娑婆世界(現世界)には、さまざまなきしみ・悲しみがいっぱいあります。
 観音さまは、この苦しき・悲しきから救うため、極楽浄土の世界より娑婆世界に降りてきます。

そして、三十三通りの姿に変わり、私たち一人一人の事情に応じて、その姿を変え救いの手を差し延べて下さいます。観音さまの手が長いのは、やさしい手を差し延べてくれるという慈悲の形の表れです。
 観音さまにお願い事のある方、永代のご供養を望まれる方は、願主になられ、ご加護を受けられますようお勧め致します。



白衣観世音願主料
貳万円
 (1体1願)
 ◎お願い事、お名前を刻印し御祈念後、西国三十三観音お砂踏み霊場に奉安します。

※観音さま奉安ご希望の方は、お申し出下さい。申込用紙をお送り致します。

白衣観音奉納願主ご芳名

群馬県	伊藤 修 聖	徳島県	大森 浩 二	香	許 港
埼玉県	黒澤 茂 務	愛媛県	大上 俊 恵	李	李 偉 勲
福井県	黒澤 けい子	高知県	高上 俊 恵	趙	文 偉 勲
皆見 勝 義	宮崎県	高知県	高上 俊 恵	凌	趙 文 偉 勲
愛知県	大野 達 夫	香	李 偉 勲	莫	凌 趙 文 偉 勲
滋賀県	長谷川 誠 次	富	李 偉 勲	楊	莫 凌 趙 文 偉 勲
岡山県	高橋 綾 子	山	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
玉木 夕 二		真	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		都	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		可	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		李	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		楊	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		莫	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		凌	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		趙	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		文	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		李	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		許	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲
		港	李 偉 勲	李	莫 凌 趙 文 偉 勲

平成二十五年十二月一日より平成二十六年六月三十日まで奉納祈願された方です。
 (敬称略)

八十八ヶ所 蓮華台奉納供養のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場ご宝前に立体的な蓮華台を設置。蓮の華にいだかれながら、お砂ふみ修行をしていただきます。

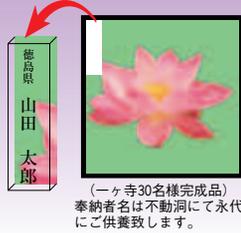


奉納数は一〇八ヶ所で終了とさせていただきます。

今、私たちはご先祖様の尊いご縁で生かされており、また毎日あらゆる力のおかげで生活しております。この尊いおかげの心をご供養するお気持ちで蓮華台奉納の申し出をお願いします。奉納供養は一口壺万円とし各霊場側面に府県名、ご芳名を記し永代にご供養させていただきます。

合掌

蓮華台奉納の申し出をしていただける方は、お願い事、施主名をお知らせ下さい。※申し込み用紙をお送り致します。



(一ヶ寺30名様完成品) 奉納者名は不動洞にて永代にご供養致します。

蓮華台奉納願主ご芳名

第五十九番 国分寺

千葉県	立花 美智子	香川県	尾木 久 雄
東京都	塩澤 眞 睦	白	山 福 義

平成二十五年十二月一日より平成二十六年六月三十日まで奉納祈願された方です。
 (敬称略)

秋の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を(ちゅうにち)とし前後の三日を合わせた七日間をいいます。

この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとりの境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え(六波羅蜜)を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

彼岸の入りから明けまで七日間
 一壺・三千元

- 【布施】 他人へ施しすること
- 【忍辱】 不平不満を言わず耐え忍ぶ
- 【禪定】 心を安定させること
- 【持戒】 戒を守り、反省すること
- 【精進】 精進努力すること
- 【智慧】 真実をみる智慧を働かせる

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでご供養下さい。

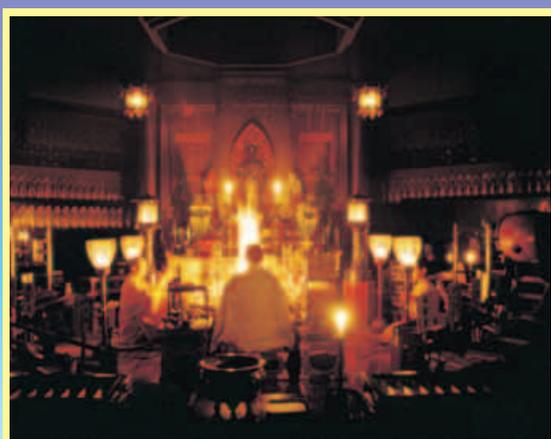
お砂踏み 霊場 御仏体奉納のお願い 永代供養

- 西国三十三観音(各御本尊)
- 中国、入唐赤岸鎮(弘法大師)
- インド八大仏跡(釈迦如来)
- 中国、西安市青龍寺(惠果阿闍梨)



鯖大師では、お砂踏み霊場の御仏体建立奉納をお願いしております。
 当代の仏師長野六弘師に依頼、各御本尊彫りにて御厨子、納骨台に御芳名を刻印納骨致します。
 御仏体は鯖大師にて永代に供養させていただきます。
 ※奉納していただける方、(三十六ヶ所)指定ヶ所をお申し出下さい。資料お送り致します。
 (第一番、第二番、第三番、第五番、第六番、第八番、第二十番は既にお祀りしております。右記以外で指定下さい。)

護摩堂内奉安護摩
祈願の大不動明王



奉安、ご祈願ご希望の
方はお申し出下さい。
火災にお願い事、お名前を記入
(一人・一体・一願)

永代ご祈願大不動明王



護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm 重さ8kg

納奉主願 料主奉納
也圓萬拾参 願主奉納
金 参拾萬圓也

大不動明王
願主ご芳名

北海道 吉鷹 美枝

石川県 岡田 幸子

2体

広島県 小島美恵子

千体地藏尊
願主ご芳名

徳島県 大森 香

平成二十五年十二月一日より平成二十六年六月三十日までにお花代、お供えとして奉納された方です。ここに厚くお礼を申し上げます。
この期間以外の方はここに掲載されておりません。
(敬称略)

不動明王・白衣観音
飛天曼荼羅
ご浄財ご芳名(二万円以上)

千葉県 山本富士実 香川県 浮田トシ子
徳島県 大西 幸子 愛媛県 大上 俊恵
徳島県 横川 武美

御奉納

馬頭観音大提灯
徳島県 島 秀子
徳島県 南 るみ

御奉納

御宝号大のぼり
和歌山県 北上 賢二
大阪府 北上 昌己

御奉納

高野檜十七本、献木
御子息十七回忌の為
愛媛県 橋本 渉

永代供養・「位牌預かり」「過去帳記入」

お祀り出来ない方、お祀りする人がいない方



お位牌預かり、過去帳記入の方、毎日、お仏飯お茶をお供えして、各月命日には読み上げ供養を致します。

位牌預かり

一基 参拾万円

過去帳記入

一霊 拾万円

北海道	吉鷹 美枝	新潟県	本間 真
青森県	野呂 喜久恵	石川県	沼田 幸次
東京都	塩澤 眞睦	沼田	美津枝
高野	忠男	兵庫県	池田 侑美枝
新潟県	本間 路子	和歌山県	寺村 晴行



ご奉納文字数
現在 二百五文字目

「壹千文字」ご奉納
願主ご芳名

心経塔 (多宝塔)

般若心経 多宝塔

お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。
皆様の御写経奉納をお願いします。

お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。
奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。

お写経用紙 (三十枚つづり)
一冊 千円
荷具送料 三百円

お写経奉納料
一卷(一枚)千円

奉納お写経 106,667巻

上記の巻数は、平成2年12月1日より平成26年6月30日までの累計です。

岡山県	戸田 カツミ	岡山県	宮城山 さち子	愛知県	葛山 定枝	和歌山県	和歌山 としゑ
岡山県	中山 素身	宮城山	大松 慈永	小久保	勝巳	和歌山県	和歌山 としゑ
徳島県	丸田 賀朗	東京府	平田 澄子	伊藤 富子	千加子	和歌山県	和歌山 としゑ
徳島県	福井 久子	大阪府	飯島 睦子	加藤 千加子	誠次	和歌山県	和歌山 としゑ
山口県	磯崎 剛彦	長野県	白田 悦子	長谷川 誠次	天野 恒道	和歌山県	和歌山 としゑ
徳島県	河野 守義	岐阜県	青木 美登江	滋賀県	塩崎 徳子	和歌山県	和歌山 としゑ
宮城山	伊藤 とよ子	岐阜県	加納 勝一	京都府	小野 妙圓	和歌山県	和歌山 としゑ
大阪府	桑原 シゲ	岐阜県	武井 君江	大阪府	金野 哲雄	和歌山県	和歌山 としゑ
大阪府	福井 久子	岐阜県	長野 飯島 睦子	大阪府	奥野 庄司	和歌山県	和歌山 としゑ
徳島県	徳島 剛彦	岐阜県	岐山 悦子	大阪府	田中 康夫	和歌山県	和歌山 としゑ
徳島県	河野 守義	岐阜県	池田 侑美枝	大阪府	野村 妙観	和歌山県	和歌山 としゑ
宮城山	伊藤 とよ子	岐阜県	兵庫 美登江	大阪府	橋野 美千子	和歌山県	和歌山 としゑ
宮城山	伊藤 とよ子	岐阜県	兵庫 美登江	大阪府	兵庫 幸子	和歌山県	和歌山 としゑ
宮城山	伊藤 とよ子	岐阜県	兵庫 美登江	大阪府	兵庫 幸子	和歌山県	和歌山 としゑ

多宝塔内、奉安

ご奉納 一羽 千円

壹萬羽鶴

鯖大師では皆様の願い、壹萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に、願いを込めて折って戴いた鶴「壹萬羽鶴」のご奉納祈願を發願致しました。
皆様のお願い事を般若心経・多宝塔の観音様にお伝えし、飛天さんに天空界へと届けて戴きます。
「お願い事、お名前を書き、一折、一折に思いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」

奉納数 百八十四羽

平成25年11月3日より平成26年6月30日までの累計です。



家内安全大般若経法要

ご法礼大祭

十一月三日(月)文化の日

お大師さまの ご恩をたたえ喜ぶ



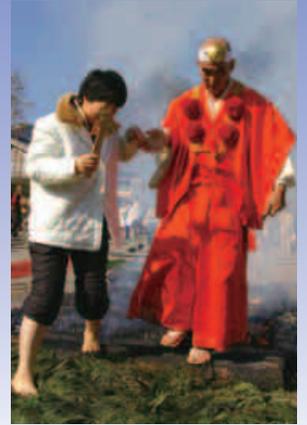
厄除開運大柴燈護摩



奉祝大もち投げ

行事

- 水琴千体地藏尊御供養 (駐車場) 午前九時
- 家内安全大般若経法要 (本堂) 午前十時
- 厄除開運大柴燈護摩 (駐車場) 午後一時
- ※火渡り修行に参加して下さい。
- 奉祝大もち投げ (駐車場) 午後三時
- ※うどんお接待



火渡り修行

本年もご法礼大祭を上記の如く盛大に修行する予定です。
ご参加、ご拝顔を楽しみにしております。

◎前日、及び当日ご宿泊の方は十月二十日までに申し出てください。

◎「参加・ご宿泊の方へ、十月二十日までに申し出てください。」

◎拝観時間 (午前九時～午後四時)

◎拝観料 (無料)

※法要参加以外でも、参拝の折、事前にお電話で拝観のご予約を戴ければ、飛天さんのご説明方、寺者立会いのもと、ご拝観していただけます。

◎「参加・ご宿泊の方へ、十月二十日までに申し出てください。」

飛天は天空界より地上へ舞い降り、願いを天界まで届ける手助けをしてくれます。大聖堂の天井を覆い尽くす天使と同じ役割ですが、日本に入ってくると本堂の欄間などに紋様化され、飛天本来の持つ表現が希薄になっていきます。飛天研究の第一人者でもあり画家・吉永邦治師が心魂を注ぎ、三年の月日をかけ描かれた飛天は、西洋美術・東洋美術と世界各地を巡り、飛天を探究され描かれた絵画の芸術的迫力と、佛・飛天を求め高野山大学で学び修練され描かれた、唯一無二の慈愛が融合された佛としての飛天を間近に体感して下さい。

本来の姿をあまり表現され飛天、堂内に曼荼羅という宇宙空間を創り出した多宝塔は、現在日本で唯一の塔となります。

鯖大師では多宝塔、飛天曼荼羅荘厳にあたり内壁と飛天群の間に壱千文字(般若心経・観音経偈・聖観音御真言等)奉納祈願を發願お写経奉納ご寄進の方の代表として浄書、飛天群により封印致しました。この飛天曼荼羅のご開帳結縁法要を十一月二日、大祭前夜祭として執り行います。当日、法要では壱千文字奉納の方々のお願いを観音さまにご祈念して、飛天さんより天空へ届けて戴きます。ご出席の皆様には多宝塔内にお入りになって戴き、飛天結縁灌頂の儀を致します。



壱千文字浄書



飛天曼荼羅荘厳



二開帳結縁法要



大祭前夜祭(宿泊のご案内)

「飛天曼荼羅、ご開帳結縁法要」

十一月二日(日) 夜七時

特選 鯖大師銘香

お盆にはご先祖さまに良い香りを!!



蓮華の香り
福の花
徳用 (1,600円)
小箱 (800円)



本 格
白 壇
徳用 (2,600円)
小箱 (1,200円)



智慧の香り(金粉入り)
般 若
徳用 (2,400円)
小箱 (1,200円)

※消費税8%導入に伴い、平成26年9月1日より「小箱50円・徳用100円」の値上げになります。